

科目区分	専門教育科目	科目名	子どもの健康と安全		科目コード	22Y406	担当者	大安 貴佳子			
対象学生	幼児教育学科 1年生	学期区分	後期		単位数	1	担当形態	単独			
		授業形態	演習								
科目		施行規則に定める科目区分又は事項等				卒業要件	選択				
						免許・資格要件	保育士必修				
科目の主題						学修成果との関連（大◎、中○、小△）					
保育における保健的観点を踏まえた保育環境や援助について学ぶ						1. 「良心」 誠実な人柄と 人間力	2. 「創造」 高度な知性と 創造力	3. 「実践」 明確な意思と 実践力			
科目の到達目標						① 誠実性・真摯性	② 多様性・協働性	③ 知識・技能	④ 表現力・創造断力	⑤ 実行力・自立性	⑥ 就業力・貢献力
1.	心身の健康に関する保健活動や環境について学び述べるができる										
2.	衛生管理並びに安全管理について学び述べるができる										
3.	体調不良等に対する適切な対応を説明できる										
4.	ガイドラインに沿った感染症対策について説明できる							◎	○	◎	
5.	保健活動の計画及び評価について理解する					成績評価の方法と割合					
授業方法						受講態度（20%） 小テスト、提出物（20%） 定期試験（60%）					
プリントやパワーポイントを用いた講義形式で行う 内容に応じてグループワーク等も行う											
課題等への対応						授業外学修時間					
小テストは返却し、解説・質疑応答の時間を設ける						予習復習含め週30分程度					
回数	授業計画					学習課題（予習・復習）					
第1回	オリエンテーション、子どもの健康と保育の環境、個別対応と集団全体の健康および安全					子どもの健康について振り返る					
第2回	施設の衛生管理・衛生環境、事故防止及び安全対策、危機管理と災害への備え					事故予防について振り返り自分なりの対策を考える					
第3回	感染症の予防と対策、特徴と対応					各感染症について理解を深め、適切な対応を確認する					
第4回	体調不良や傷害が発生した場合の対応					体調不良や傷害が発生した場合の対応について振り返る。救急処置、心肺蘇生法について予習する					
第5回	小テスト、救急処置及び心肺蘇生法					救急処置、心肺蘇生法について再確認し確実に習得する					
第6回	個別的な配慮を必要とする子どもへの対応					個別的な配慮を必要とする子どもへの対応について振り返る					
第7回	障害のある子どもへの対応					障害のある子どもへの対応について振り返る					
第8回	年間保健計画の立案と評価、講義の振り返り					保健だよりの作成、これまでの講義を振り返る					
試験	定期試験を実施する										
教科書	なし					受講生へのメッセージ 保健の分野は難しい内容もありますが子どもの命を預かる保育者として欠かすことのできない項目です。現場で適切な対応ができるよう学びを深めていきましょう。 7.5回の講義になります。1回目はAB合同、2～8回目がAクラス、9～15回目がBクラスとなるのでご注意ください。					
参考書等	子どもの健康と安全 大西文子 中山書店 子どもの健康と安全 八木利津子/平松恵子/新沼正子 青踏社										